



# クラウド セキュリティ

アクセスセキュリティに対する Duo のクラウドベースのアプローチによって、稼働している環境に関係なく、すべての企業アプリケーションが保護されます。

課題：

## 監視の欠如

今日の企業ネットワークでは、従来のオンプレミス アプリケーションと最新のクラウドアプリケーションが混在しています。

企業ポリシーが BYOD を禁止していても、個人のデバイスでこれらの企業アプリケーションにアクセスするユーザーがいます。これは、多くのデバイスが IT 部門の監視を受けずにネットワークリソースにアクセスしている可能性があることを意味します。これらの管理されていない個人用デバイスを把握することは、あらゆる組織の IT 部門とセキュリティ部門にとってますます大きな課題となっています。

フルタイムの従業員に加えて、外部の請負業者やベンダーも企業ネットワークにアクセスすることが必要な場合があります。ただし、このグループは通常、アクセス権をより厳しくして通常の従業員ベースとは切り離しておく必要があります。サードパーティがアクセスすることのセキュリティリスクは周知であるにもかかわらず、企業がこのグループに対してより厳しいアクセスポリシーやセキュリティポリシーを適用することはめったにありません。



Duo は、最も広く使われている次のようなアプリケーションと連携します。



# クラウドセキュリティ

ソリューション:

## 次世代のアクセス制御

Duo Beyond は、二要素認証とエンドポイントの可視性を組み合わせて、オンプレミスやクラウドホスト型のアプリケーションへのセキュアなアクセスを実現します。Duo Beyond には以下のような多くのメリットがあります。

### 01

#### すべてのクラウドアプリケーションへのセキュアなアクセス

Duo は、SAML 2.0 をサポートするエンタープライズ クラウド アプリケーションとシームレスに統合し、Office 365、Salesforce、Dropbox などの広く使われているアプリケーションへのセキュアなアクセスを実現します。クラウドベースのソリューションであるため、オンプレミスのハードウェアを導入したり、ソフトウェアを更新したりする必要はありません。また、IT ニーズに合わせて迅速に拡張できます。

### 02

#### BYOD でのセキュリティ確保

Duo は、企業所有のデバイスか個人のデバイスかに関わらず、ネットワークにアクセスするすべてのデバイスに関するインサイトを提供できます。エージェントを導入する必要がないため、デバイス インフラストラクチャ全体を漏れなく網羅できます。

### 03

#### 請負業者や非従業員の可視化と管理

Duo を使用すると、きめ細かなロールベースのポリシーを作成して、組織内のさまざまなグループによるアクセスを保護できます。たとえば、サードパーティの請負業者がネットワークにアクセスする場合に、より厳格なセキュリティ対策を実施できます。たとえば、プロキシ、Tor ネットワーク、さらにはイランや北朝鮮などの特定の国からのアクセスをブロックすることが可能です。

「  
ユーザーは、ログインでのスムーズでシームレスな動きを実感すると、Duo を利用するようになりました」

**Jason Marlin 氏**

Ars Technica 技術担当ディレクタ